

# CentreCOM<sup>®</sup> LA100-CardBus-T V2

## 取扱説明書・Windows<sup>®</sup>2000編

アライドテレシス株式会社

この度は、「CentreCOM LA100-CardBus-T V2（以下、本製品と略します）」LAN PC カードをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は、本製品を Windows 2000 のもとで正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、保証書とともに大切に保管くださいますようお願いいたします。



注意

この取扱説明書に記載の内容は、Windows 2000 Professional の事前評価版をもとに作成されています。そのため、手順などが正式版の Windows 2000 におけるものと異なっている可能性がありますので、あらかじめご了承ください。



注意

ここに挙げる手順は一例であり、お客様の環境によっては手順や表示画面が異なることがあります。本書の画面例は AT 互換機/PC98-NX のものです。PC-9821 シリーズの場合は、ドライブ名などが異なるためご注意ください。本書では、フロッピーディスクドライブ名を「A:」と仮定しています。

### 目次

1	ドライバーのインストール	2
1.1	用意するもの	2
1.2	ドライバーの新規インストール	2
1.3	インストールの確認とアダプターの設定	5
1.4	ドライバーの更新	7
1.5	ドライバーの削除	9
1.6	本製品を一時的に使用しないとき	10
2	活線挿抜（ホットスワップ）に関するご注意	11
2.1	PC カードの挿入	11
2.2	PC カードの取り外し	11
2.3	使用するスロットの変更	12
3	ドライバーのトラブル	12
3.1	本製品を認識しない	12
3.2	デバイスマネージャで「x」マークが付く	12
4	ネットワークのトラブル	12
4.1	LINK LED は点灯していますか？	12
4.2	LINK LED は点灯しているが...	13
4.3	「近くのコンピュータ」が表示されない	13
4.4	本製品の詳細設定	14

# 1 ドライバーのインストール

本製品のドライバーをWindows 2000に新規インストールする手順を説明します(ここでは、今までにネットワークアダプター用ドライバーをインストールしたことがなく、今回初めて本製品のドライバーをインストールする場合の手順について説明します)。

## アップデートインストールについて

すでに、Windows 98/95、Windows NTで本製品を使用している状態から、Windows 2000にアップデートする場合の手順については、ドライバーディスク内の「¥README.2K」を参照してください。

### 1.1 用意するもの

- LA100-CardBus-T V2 LAN PCカード、メディアケーブル、UTP ストレートケーブルなど
- コンピュータ (CardBus 対応 PC カードスロット付き、Windows 2000 インストール済み)
- 本製品のドライバーディスク

### 1.2 ドライバーの新規インストール

新規インストールの大きな手順は、次の通りです、手順 i ~ iii の間に Windows 2000 を再起動する必要はありません。

- i 本製品をコンピュータに取り付けて、Windows 2000 を起動します。Plug & Play 機能により、「Intel 21143 Based PCI Fast Ethernet Adapter」のドライバーが自動的にインストールされます。
- ii 上記のドライバーを「LA100-CardBus-T V2」のドライバーに更新します。
- iii「LA100-CardBus-T V2」のドライバーを削除してから、「ハードウェア変更のスキャン」を行い、「LA100-CardBus-T V2」のドライバーを再ロードします。

次に詳細な手順を説明します。

- (1) 本製品をコンピュータのPCカードスロットに取り付けていない状態で、コンピュータの電源をオンにし、Windows 2000を起動してください。
- (2) 次の手順を実行するには、「Administrator」またはAdministrators グループのユーザー名でログインします。



- (3) コンピュータのPCカードスロットに本製品を挿入してください。



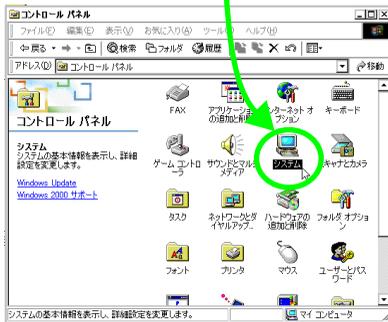
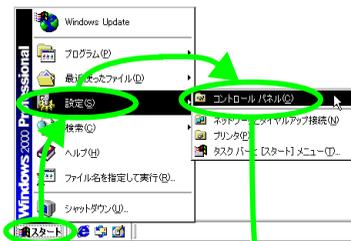
CardBus 非対応の PC カードスロットには、絶対に本製品を挿入しないでください。CardBus対応 PC カードでは、CardBus 非対応機種種の PC カードスロットに誤ってカードを挿入することを防ぐため、カードの形状を工夫しております。そのため、無理に挿入しようとするとカードまたは PC カードスロットを破損させる恐れがありますので、ご注意ください。

- (4) Windows 2000 は Plug&Play 機能により、自動的にドライバーをインストールします。

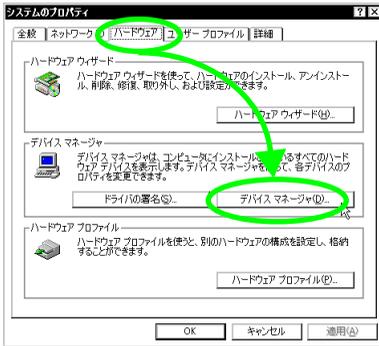


本製品は、自動的にインストールされた「Intel 21143 Based PCI Fast Ethernet Adapter」のドライバーでは正しく動作しません。LA100-CardBus-T V2 の Windows 2000 用ドライバーで、ドライバーを更新します。

- (5) 「スタート」から、「設定」 「コントロールパネル」を選択し、「システム」をダブルクリックします。



- (6) 「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」をクリックします。



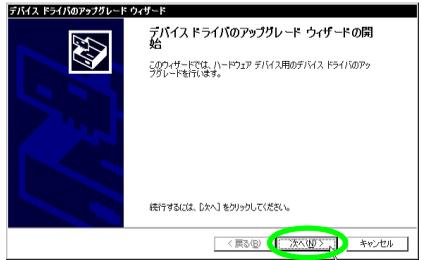
- (7) 「ネットワークアダプタ」アイコンの左の「+」をクリックし、「ネットワークアダプタ」の下に表示された「Intel 21143 Based PCI Fast Ethernet Adapter」をダブルクリックします。



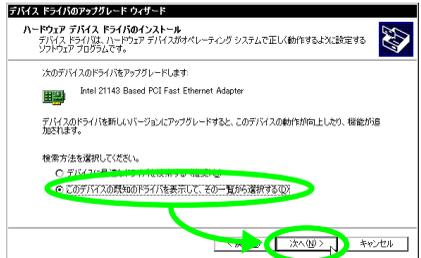
- (8) 「ドライバ」タブを選択し、「ドライバの更新」をクリックします。



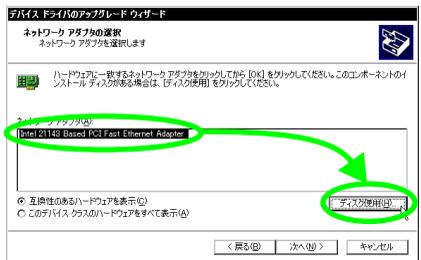
- (9) 「次へ」をクリックします。



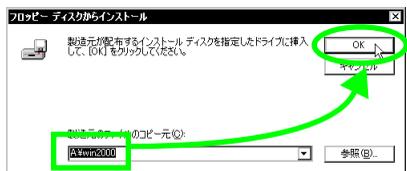
- (10) 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」をチェックし、「次へ」をクリックします。



- (11) 「ディスク使用」をクリックします。



- (12) 本製品のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、「製造元のファイルのコピー元」に「A:¥win2000」と入力して、「OK」をクリックします。



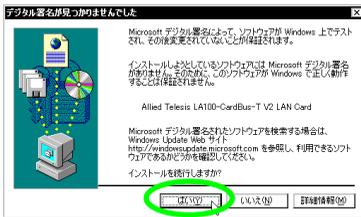
- (13) 「Allied Telesis LA100-CardBus-T V2 LAN Card」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。



- (14) 「次へ」をクリックします。



- (15) 次のようなダイアログが表示されることがありますが、その場合は、「はい」をクリックしてインストールを続行します (Microsoft デジタル署名はありませんが、正常に動作します)。



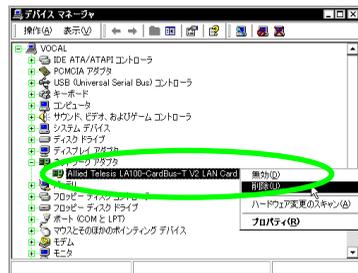
- (16) 「完了」をクリックします。



- (17) 「閉じる」をクリックします。



- (18) 続いて、本製品の登録をいったん削除します。「Allied Telesis LA100-CardBus-T V2 LAN Card」を右クリック (マウスの右ボタンをクリック) し、「削除」を選択します。

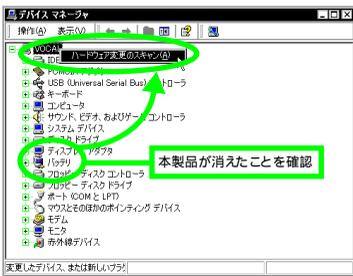


- 手順 (18) 以降を実行しないと、「4.4 本製品の詳細設定」(p.14) で説明する「Allied Telesis LA100-CardBus-T V2 LAN Card」のプロパティの詳細設定で、正しい項目が表示されませんので、必ず実行してください。

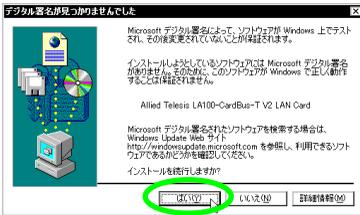
- (19) 「OK」をクリックします。



- (20) 「Allied Telesis LA100-CardBus-T V2 LAN Card」が消えたことを確認します。画面の一番上にあるコンピュータのアイコン (ここでは「VOCAL」) を右クリック (マウスの右ボタンをクリック) し、「ハードウェア変更のスキャン」を選択します。



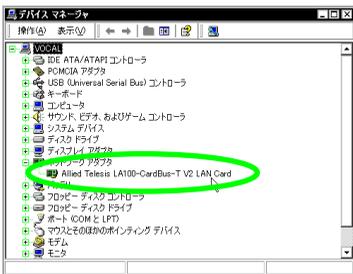
(21) 次のようなダイアログが表示されることがありますが、その場合は、「はい」をクリックしてインストールを続行します（Microsoft デジタル署名はありませんが、正常に動作します）。



(22) 次のダイアログが表示された場合は、本製品のドライバディスクをフロッピーディスクドライブに挿入して、「OK」をクリックします。



(23) 「Allied Telesis LA100-CardBus-T V2 LAN Card」に「！」や「x」がついていないことを確認して、ウィンドウを閉じます。



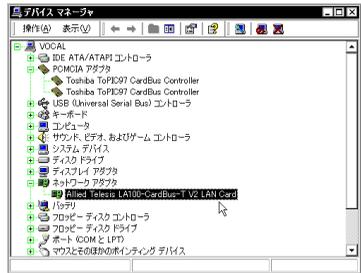
(24) 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「1.3 インストールの確認とアダプターの設定」にお進みください。

## 1.3 インストールの確認とアダプターの設定

はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

### 1.3.1 デバイスマネージャによるインストールの確認

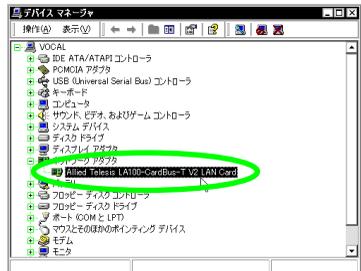
(1) 「デバイスマネージャ」の「ネットワークアダプタ」の下に「Allied Telesis LA100-CardBus-T V2 LAN Card」が表示されていることを確認します。



PCMCIA コントローラの名前は、ご使用のコンピュータ機種によって異なります。前記のダイアログは一例です。また、CardBus コントローラは必ず同じ名称のものが搭載しているスロットの数だけ表示されます。

本製品のアイコンに「？」や「！」などのマークが付いていた、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく、「不明なデバイス」や「その他のデバイス」の下にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは、「3 ドライバのトラブル」(p.12)をご覧ください。

(2) 「Allied Telesis LA100-CardBus-T V2 LAN Card」をダブルクリックします。



- (3) 「全般」タブで、「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されているのを確認します。



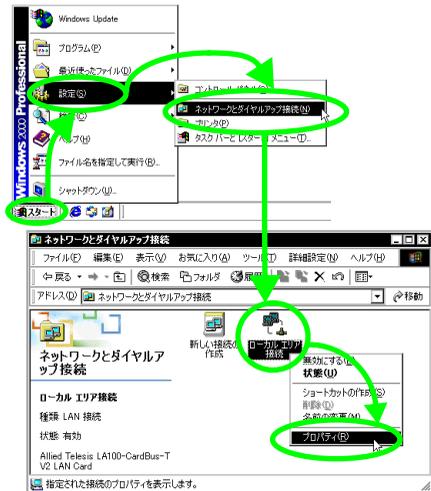
- (4) 本製品が使用する I/O ベースアドレス、インタラプト (IRQ) などは、Windows 2000 によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認することができます。



### 1.3.2 ネットワークの設定 (TCP/IP)

ドライバーのインストールが完了したら、ネットワーク環境の設定を行います。ここでは、インターネットの参照に必要となる TCP/IP の設定について説明します。

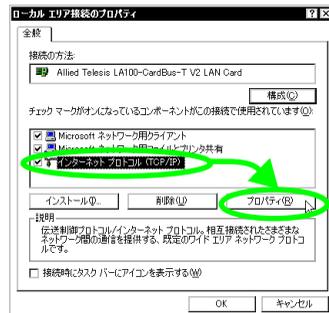
- (1) 本製品に UTP ケーブルが正しく接続されていることを確認します。「スタート」メニューから、「設定」「ネットワークとダイヤルアップ接続」を選択します。「ローカルエリア接続」を右クリック(マウスの右ボタンをクリック)し、「プロパティ」を選択します。



UTP ケーブルが本製品から外れている場合などには、「ローカルエリア接続」アイコンにエラーが表示されます。このようなときには、「3 ドライバーのトラブル」(p.12)「4 ネットワークのトラブル」(p.12)などを参照し、ネットワークとの接続を確認してください。

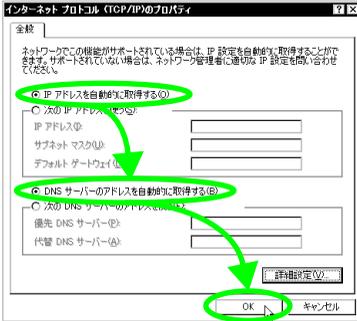


- (2) 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。

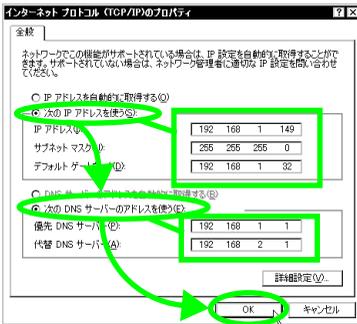


(3) パラメータを設定します。

- IPアドレスを自動設定する場合（DHCPを使用する）  
「IPアドレスを自動的に取得する」、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」がチェックされていることを確認し、「OK」をクリックします。



- IPアドレスを手動で設定する場合（DHCPを使用しない）  
「次のIPアドレスを使う」、「次のDNSサーバーのアドレスを使う」をチェックし、各項目のアドレスを入力して、「OK」をクリックします。  
ここでは仮の値を設定していますので、お使いの環境に合った値を入力してください。



## 1.4 ドライバーの更新

ドライバーの更新は、本製品用の最新のドライバーを入手したときに実行します。



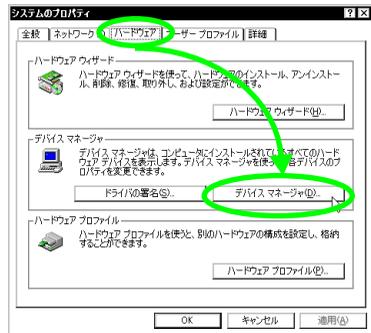
次の手順を実行するには、「Administrator」または「Administrators」グループのユーザー名でログオンしてなければなりません。



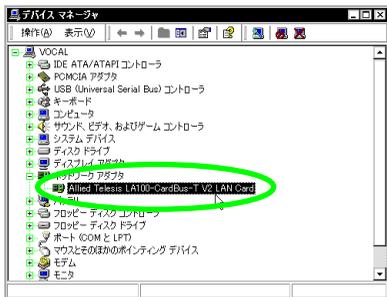
- (1) 「スタート」メニューから、「設定」、「コントロールパネル」を選択し、「システム」をダブルクリックします。



- (2) 「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」をクリックします。



- (3) 「ネットワークアダプタ」の下の「Allied Telesis LA100-CardBus-T V2 LAN Card」をダブルクリックします。



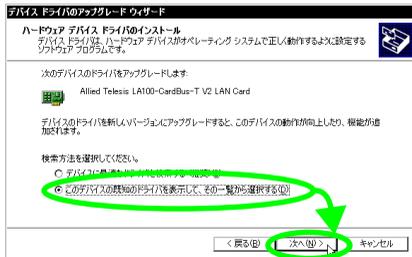
- (4) 「ドライバ」タブを選択し、「ドライバの更新」をクリックします。



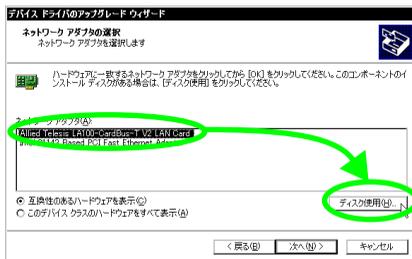
- (5) 「次へ」をクリックします。



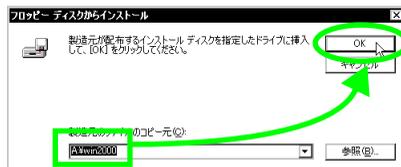
- (6) 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」をチェックし、「次へ」をクリックします。



- (7) 「ディスク使用」をクリックします。



- (8) 本製品の最新ドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、「ファイルコピー元」に「A:¥win2000」と入力して、「OK」をクリックします。



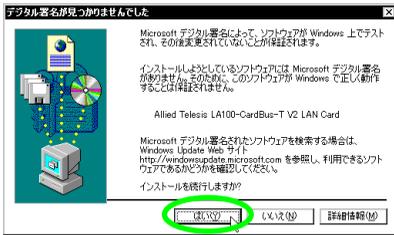
- (9) 「Allied Telesis LA100-CardBus-T V2 LAN Card」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。



(10) 「次へ」をクリックします。



(11) 次のようなダイアログが表示されることがありますが、その場合は、「はい」をクリックしてインストールを続行します (Microsoft デジタル署名はありませんが、正常に動作します)。



(12) 「完了」をクリックします。これで、ドライバーの更新は完了です。



## 1.5 ドライバーの削除

ドライバーを削除し、本製品をシステムから削除する手順は次の通りです。



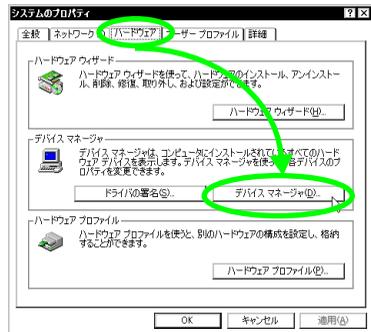
次の手順を実行するには、「Administrator」または Administrators グループのユーザー名でログオンしてなければなりません。



(1) 「スタート」メニューから、「設定」、「コントロールパネル」を選択し、「システム」をダブルクリックします。



(2) 「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」をクリックします。



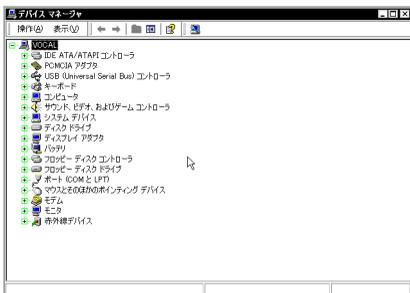
- (3) 「ネットワークアダプタ」の下の「Allied Telesis LA100-CardBus-T V2 LAN Card」を右クリック（マウスの右ボタンをクリック）し、「削除」を選択します。



- (4) 「OK」をクリックします。



- (5) 本製品のアイコンが削除されたことを確認します。



- (6) コンピュータのPCカード取り外しボタンを押し、本製品を取り外してください。

ドライバーのインストールに失敗した場合なども、この手順に間違い間違ってインストールされたドライバーを削除してから、あらためてインストール作業を行います。

## 1.6 本製品を一時的に使用しないとき

本製品を PC カードスロットに付けたまま、一時的に使用を中止するときには、デバイスを無効に設定します。例えば UTP ケーブルを本製品から取り外すような場合、Windows 2000 は「ローカルエリア

接続」でエラーを表示しますが、「無効」に設定すればエラーは表示されません。使用を再開したい場合には、有効に設定します。

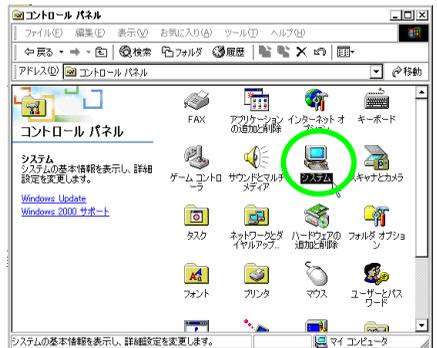


注意

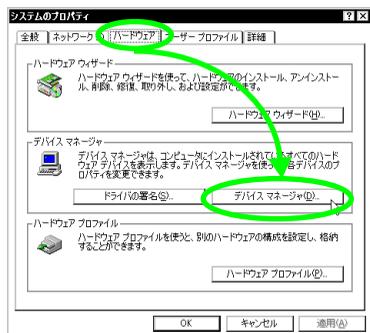
次の手順を実行するには、「Administrator」または Administrators グループのユーザー名でログオンしていなければなりません。



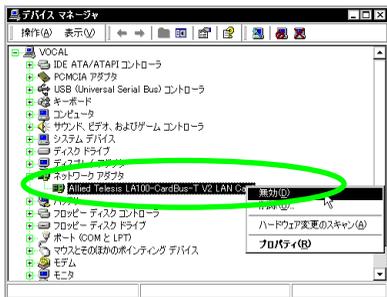
- (1) 「スタート」メニューから、「設定」「コントロールパネル」を選択し、「システム」をダブルクリックします。



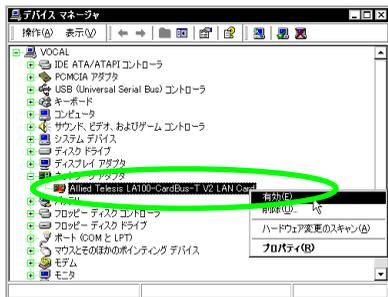
- (2) 「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」をクリックします。



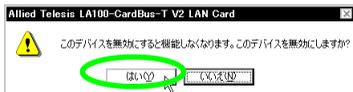
- (3) 「ネットワークアダプタ」の下の「Allied Telesis LA100-CardBus-T V2 LAN Card」を右クリック（マウスの右ボタンをクリック）し、「無効」を選択します。



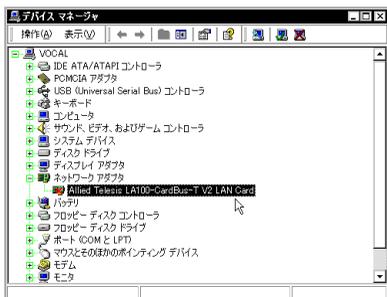
- (6) 再度有効にするには、「Allied Telesis LA100-CardBus-T V2 LAN Card」を右クリック（マウスの右ボタンをクリック）し、「有効」を選択します。



- (4) 「はい」をクリックします。



- (5) 「Allied Telesis LA100-CardBus-T V2 LAN Card」に「x」マークがつき、無効になったことを示します。



「コントロールパネル」 「ネットワークとダイヤルアップ接続」の「ローカルエリア接続」もグレーで表示され、無効であることを示します。



## 2 活線挿抜（ホットスワップ）に関するご注意

### 2.1 PC カードの挿入

Windows 2000 は活線挿抜（ホットスワップ）をサポートしているので、コンピュータの電源をオンにした状態で本製品をPCカードスロットに挿入することができます。

- (1) 「LA100-CardBus-T V2」の文字が印刷された面を上にして、本製品をコンピュータの PC カードスロットに挿入し、カチッと手応えがあるまで押し込んでください。



警告

コンピュータ機種によっては、下に向けて装着するものもあります。間違えて装着した場合、本製品やご使用のコンピュータの故障の原因となります。PC カード装着に関しては、必ずご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

- (2) 本製品を PC カードスロットに挿入すると、Windows 2000 は Plug & Play 機能により本製品を検出します。

### 2.2 PC カードの取り外し

Windows 2000 は活線挿抜（ホットスワップ）をサポートしているので、コンピュータの電源をオンにした状態で本製品を PC カードスロットから取り外すことができます。ただし、コンピュータの電源がオンの状態で本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順で行ってください。



警告

以下の手順を守らなかった場合、コンピュータのハングアップや、Windows 2000 ファイルの破壊を招く恐れがあります。また、以下の手順をお守りいただかないで起こった障害に関してはユーザーサポートの対象外とさせていただきます。

- (1) ネットワークと通信を行っているアプリケーション、例えば Internet Explorer、Netscape Navigator、Telnet やデータベースアプリケーションなどをすべて終了してください。

「ネットワークドライブの割り当て」を行っている場合は、すべて切断してください。

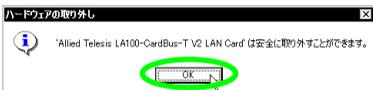
- (2) タスクバーの「PC カード」アイコン（通常デスクトップ右下）をクリックします。



- (3) 「Allied Telesis LA100-CardBus-T V2 LAN Card を停止します」が表示されたら、バーをクリックします。



- (4) 「OK」をクリックします。



- (5) コンピュータの PC カード取り外しボタンを押してください。本製品は、PC カードスロットから外れ、手で取り出せる状態になります。



メディアケーブルを引っ張って PC カードを引き抜くことは絶対におやめください。本製品、メディアケーブルの故障の原因となります。

## 2.3 使用するスロットの変更

複数の PC カードスロットを持つコンピュータ機種では、ドライバーをインストールした PC カードスロット以外に本製品を挿入すると、CardBus（32bit PC カード）の仕様により再度ドライバーのインストールが行われます。この場合、新しくインストールされたアダプターに対応するプロトコルの設定が再度必要となりますのでご注意ください。

また、インストール完了後「ネットワークとダイヤルアップ接続」(「スタート」メニューから、「設定」 「ネットワークとダイヤルアップ接続」) では、スロットを変更してインストールしたものが別の「ローカルエリア接続」として認識されます。複数の PC カードスロットに、本製品を装着している場合は、「ローカルエリア接続」アイコンは複数表示されます。

## 3 ドライバーのトラブル

ここでは、ドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処法について説明します。



以下の手順は、本製品を PC カードスロットに取り付けた状態で行ってください。

注意

## 3.1 本製品を認識しない

「1.3.1 デバイスマネージャによるインストールの確認」（p.5）にしたがってインストールの確認を行った際に、「Allied Telesis LA100-CardBus-T V2 LAN Card」アイコンの表示が以下のようになっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。

- ・「ネットワークアダプタ」の項目がない
- ・「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下に入ってしまった



このような場合は、ドライバーインストール中に行われる Windows 2000 関連ファイルのインストールをキャンセルしてしまつたなどの原因が考えられます。

- ・デバイスマネージャで「!」「?」マークが付く

このようなときは、ドライバーを一旦削除し、もう一度インストール作業をやり直してください。

また、「Allied Telesis LA100-CardBus-T V2 LAN Card」ではなく、「Intel 21143 Based PCI Fast Ethernet Adapter」がインストールされている場合には、「1.2 ドライバーの新規インストール」(p.2)の手順を参照し、本製品のドライバーに更新してください。

## 3.2 デバイスマネージャで「x」マークが付く

デバイスマネージャの「Allied Telesis LA100-CardBus-T V2 LAN Card」アイコンに「x」マークが付いている場合は、デバイスが「無効」に設定されています。「1.6 本製品を一時的に使用しないとき」(p.10)の手順を参照し、設定を「有効」に切り替えてください。

## 4 ネットワークのトラブル

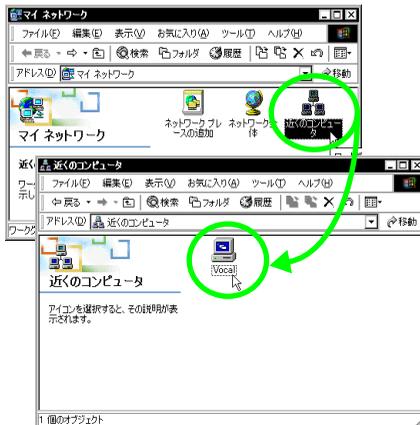
「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

### 4.1 LINK LED は点灯していますか?

LINK LED は、接続先機器（ハブやスイッチなど）と正しく接続されている場合に点灯します。LINK LED は、本製品と接続先機器の両方に存在します。本製品と接続先機器の両方の LINK LED が点灯していることを確認してください。どちらか一方しか点灯していない、または両方とも点灯しない場合は、以下のことを確認してください。

- ・接続先機器の電源がオンになっているか確認してください。
- ・UTPケーブルが正しく接続されているか確認してください。

- 正しい UTP ケーブルを使用しているか確認してください。本製品と接続先機器との接続には「ストレートタイプのケーブル」を使用しなければなりません。
- 接続先機器（ハブやスイッチなど）のポートの設定が正しいか確認してください。ハブなどの機種によっては、ハブ同士を接続するためのポート（カスケードポート）を持つものがあります。カスケードポートに本製品を接続するときは、カスケードポートの設定スイッチで同ポートを「MDI-X」や「to pc」に設定しなければなりません（通常のハブのポートとして設定する）。
- 接続先機器の特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。
- UTP ケーブルに問題はありますか？ケーブルの不良は外観からは判断しにくいため、他のケーブルに交換してテストしてみてください。
- 接続先機器の通信速度、カードの通信速度を確認してください。「4.4 本製品の詳細設定」(p.14)を参考にして、接続先機器に合った速度を選択してください。

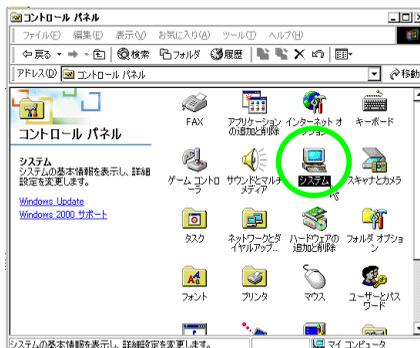


- (1) 「スタート」メニューから、「設定」「コントロールパネル」を選択し、「システム」をダブルクリックします。

## 4.2 LINK LED は点灯しているが ...

LINK LED は点灯しているが 通信が遅いなどの障害が発生している場合、以下のことを確認してください。

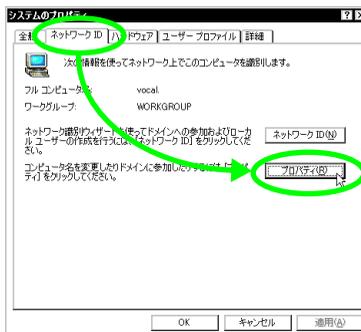
- UTP ケーブルの長さは正しいですか？ふたつのネットワーク機器の直接リンクを形成する UTP ケーブルは、最長 100m と規定されています。
- 正しい UTP ケーブルを使用していますか？ 100BASE-TX では「カテゴリ-5」、10BASE-T では「カテゴリ-3」以上の UTP ケーブルを使用しなくてはなりません。
- UTP ケーブルに問題はありますか？ケーブルの不良は外観からは判断しにくいため、他のケーブルに交換してテストしてみてください。



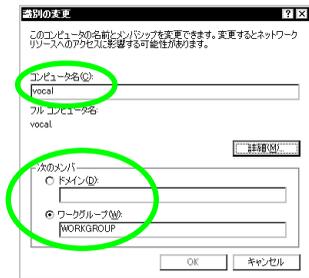
- (2) 「ネットワーク ID」タブを表示し、「プロパティ」をクリックします。

## 4.3 「近くのコンピュータ」が表示されない

「マイネットワーク」の「近くのコンピュータ」にご使用のコンピュータしか表示されない場合は、「ネットワーク ID」の設定を確認してください。



(3) 「コンピュータ名」、「次のメンバ」の設定を確認します。



## 4.4 本製品の詳細設定

本製品は、基本的に出荷時の設定で動作しますが、使用環境によっては追加の設定が必要になることもあります。その場合は、以下の手順にしたがって詳細設定を行ってください。

「スタート」メニューから、「設定」「コントロールパネル」を選択し、「システム」アイコンをダブルクリックします。「デバイスマネージャ」ボタンをクリックし、「ネットワークアダプタ」の下の「Allied Telesis LA100-CardBus-T V2 LAN Card」をダブルクリックします。「Allied Telesis LA100-CardBus-T V2 LAN Cardのプロパティ」が表示されますので、「詳細設定」タブをクリックしてください。

「詳細設定」タブには多くの設定項目が用意されていますが、通常は次の4項目のみ設定してください。他の項目については出荷時設定のままご使用ください。

- Store And Forward:

本製品が送信を開始するタイミングを指定します。通常は、Enabled（初期設定）でご使用ください。



図 4.4.0.1 本製品の詳細設定（Store And Forward）

Disabled を選択した場合は 100Mbps Transmit Threshold / 10Mbps Transmit Threshold（次項参照）の設定が有効になります。Enabled を選択した場合は、送信データがすべ

て送信 FIFO バッファにたまった時点でパケットの送信が開始されます。

- 100Mbps Transmit Threshold / 10Mbps Transmit Threshold:

Store And Forward が Disabled のときに意味をもつパラメータで、送信開始のしきい値を指定します。通常は、初期値（10M:96bytes、100M: 512bytes）のままでご使用ください。

例えば、128bytes を選択した場合、送信 FIFO バッファに 128 バイトがたまった時点でパケットの送信が開始されず。手動で数値を特定する場合は、72、96、128、160bytes（10Mbps）、128、256、512、1024bytes（100Mbps）の4つの選択肢の中から適当なものを選択してください。



図 4.4.0.2 本製品の詳細設定（Transmit Threshold）



図 4.4.0.3 本製品の詳細設定（Transmit Threshold 100Mbps）

- Connection Type:

本製品の通信速度（10/100Mbps）と通信モード（Full Duplex/Half Duplex）を選択します。初期設定は Auto-Negotiation です。



図 4.4.0.4 本製品の詳細設定 ( Connection Type )

#### Auto-Negotiation

Auto-Negotiation 機能を有効にします。この項目を選択した場合、接続先機器も Auto-Negotiation をサポートしていれば、実現可能な最高の速度とモードが使用されます。ただし、接続先機器が Auto-Negotiation をサポートしていない場合は、通信速度のみ自動的に検出され、検出された速度の Half Duplex ( 半 2 重 ) モードが使用されます。Auto-Negotiation をサポートしていない接続先機器との間で全 2 重通信を行うには、「100Mbps Full Duplex」( 100Mbps の場合 ) か「10Mbps Full Duplex」( 10Mbps の場合 ) を選択しなければなりません。

「Auto-Negotiation」設定で正常に通信できない場合は、次の表を参考にして、本製品および接続先機器の設定を変更してください。

		CentreCOM LA100-CardBus-T V2				
		10M Half	10M Full	100M Half	100M Full	Auto-Nego
接 続 先	10M Half	○	—	—	—	○
	10M Full	—	○	—	—	—
	100M Half	—	—	○	—	○
	100M Full	—	—	—	○	—
	Auto-Nego	○	—	○	—	○

図 4.4.0.5 通信速度およびモードの対応

#### 100Mbps Half Duplex

100BASE-TX の Half Duplex モードに設定します。

#### 100Mbps Full Duplex

100BASE-TX の Full Duplex モードに設定します。

#### 10Mbps Half Duplex

10BASE-T の Half Duplex モードに設定します。

#### 10Mbps Full Duplex

10BASE-T の Full Duplex モードに設定します。

# ご注意

(1) 本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部を複製することを禁じます。

(2) アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。

(3) アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。

(4) 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©2000 アライドテレシス株式会社

## 商標について

CentreCOMはアライドテレシス株式会社の登録商標です。

Windows、Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

## マニュアルバージョン

2000年 02月

Rev.A 初版